

5 メール誤送信防止機能の利用

1. HOME-UNIT4L のメール誤送信防止機能について

HOME-UNIT4L ご利用環境下の端末から送信された電子メールを HOME-UNIT4L 内部で一定時間（初期値 60 秒）保留させた後に送信します。保留時間内であれば、メールを廃棄することができ、誤送信防止に役立ちます。

2. メール誤送信防止の動作環境

ご利用中のアプリケーションや環境によっては、利用制限が発生する可能性があります。

①ポート 25/587 を使用した SMTP の平文での通信のみが本機能の対象です。SSL/TLS を利用した暗号化通信を使用している場合や STARTTLS 通信を利用の場合は、カスタマイズが必要となります。詳細は後述のカスタマイズ項目「③暗号化された SMTP 通信への対応」をご確認ください。設定をご希望の場合は、HOME コンタクトセンターにご相談ください。

②Gmail や Yahoo Mail などの Web メール環境、Microsoft Exchange 環境では利用できません。

③SMTP 認証において、PLAIN 及び LOGIN 以外の特殊な認証方式を用いた環境では利用できません。また、CRAM-MD5/DIGEST-MD5 を利用の場合は、お客様の端末の設定変更をする必要があります。

④特殊な文字コードを利用している場合や添付ファイルの種類によっては、添付ファイル及びメール本文に文字化けが発生する可能性があります。

⑤IPv6 を利用して送信されたメールについては、本機能は動作しません。

制限事項の詳細は、ホワイトペーパー「HOME-UNIT4L メール誤送信防止サービス」も併せてご参照ください。

ホワイトペーパー: <https://hmbx.canon.jp/agreement/index.php/wp-unit>

3. 保留メール確認画面について

HOME-UNIT4L 内に保留されたメールを確認する場合、ブラウザの URL 欄に以下を入力し、アクセスしてください。

<https://HOME-UNIT4LのIPアドレス/mail>

例: <https://192.168.100.100/mail>

※HOME-UNIT4L の IP アドレスはメールにて通知される「メール誤送信防止機能ご利用の案内」をご確認ください。ご不明な場合には HOME コンタクトセンターにご連絡ください。

アクセス後、以下の画面が表示されます。

メール誤送信防止送信メール一覧画面						
[検索] [リセット] [印刷] [CSV出力]						
検索条件	送信元	宛先	件名	送信日時	送信時刻	送信ステータス
送信元	test@example.jp	test@example.jp	テストメール	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	成功
宛先	test@example.jp	test@example.jp	テストメール	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	成功
件名	テストメール	テストメール	テストメール	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	成功
送信日時	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	成功
送信時刻	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	2023/05/10 10:00:00	成功
送信ステータス	成功	成功	成功	成功	成功	成功

表示されているメール一覧から、破棄したいメールの「破棄」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されメールが破棄されます。



※保留メール確認画面にアクセス中でも、保留時間のカウントは停止しません。「送信」をクリックすると対象メールが即時で送信されます。

※保留時間経過、HOME-UNIT4L がメール送信に失敗した場合、再送処理を 10 分間繰り返します。それでも送信ができない場合は、保留メールは削除され、送信者に対してエラーメールが送付されます。

※100MB を超えるファイルが添付されていた場合、差出人に対して即時にエラーメールが送付されます。（HOME-UNIT4L がインターネット接続不可の場合、接続回復後にエラーメールが送信されます。）

※保留メールの措置に関わらずパソコン側メールソフト上は送信済みの扱いとなります。

4. カスタマイズ項目

以下の項目はカスタマイズ可能です。カスタマイズが必要な場合には、HOME コンタクトセンターまでご連絡ください。

①誤送信防止機能除外設定

特定のメールアドレスおよびドメインを指定することで本機能の除外設定（ホワイトリスト）が利用できます。

除外設定が可能な項目は以下となります。

- 送信元除外設定
送信元のメールアドレスや、ドメインで除外する設定
- 宛先除外設定
宛先のメールアドレスや、ドメインで除外する設定

※送信元除外設定に設定されたメールアドレスおよびドメインに送信者のメールアドレスが完全一致した場合に、メール保留対象から除外されます。

※1 つでも宛先除外設定に登録されていない受信者が含まれる場合は、対象メールが保留されます。

②メール保留時間設定

メール送信を保留し、HOME-UNIT4L 内部に保留させる時間を設定できます。

- 送信保留時間
30~600 秒(初期値 60 秒)

③暗号化された SMTP 通信への対応

お客様の端末とメールサーバ間の通信に 465 ポートを利用した SSL/TLS による暗号化通信を使用している場合は、HOME-UNIT4 L 本体設定変更にて SSL インспекション機能を有効化し、クライアント端末に証明書をインポートした上でメーラの設定変更することで、メール誤送信防止機能を利用できます。

また、587 ポートを使用した STARTTLS 通信に対応したメールサーバを使用の場合は、HOME-UNIT4L の本体にて STARTTLS 機能を有効化し、クライアント端末でご利用のメーラの設定を平文に変更することにより、メール誤送信防止機能を利用できます。

※HOME-UNIT4L の STARTTLS 機能を有効にした場合、メーラ側の設定が STARTTLS のままになっている場合はメール送信が不可能となります。

※証明書のインストールや各種設定作業はお客様ご自身で実施いただきます。
設定方法の詳細は「クイックガイド(暗号化通信(SSL/TLS)対応編)」をご参照ください。

HOME-UNIT4L/4/3/2 管理者向けヘルプ：

https://hmbx.canon.jp/help9a/index.php/unit2_admin

本機能を有効化した場合、推奨ユーザー数の低減や通信速度の低減が見込まれます。

HOME-UNIT4L の設定変更については HOME コンタクトセンターにご相談ください。

以上

- Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- Mac OS は米国 Apple Computer,Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 8.1/10/11、Exchange、Microsoft OFFICE、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、Multi-Touch は Apple Inc.の商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

ご不明な点がありましたら、
HOME コンタクトセンター (フリーダイヤル) **0120-188089**
まで、お問い合わせください。